

# 第26回 小児神経筋疾患懇話会開催のお知らせ

平成21年8月22日(土) 13:00~17:40

東京ステーションコンファレンス 5F 501(東京駅隣接)

東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー TEL 03-6888-8080 FAX 03-6888-8062

世話人代表: 札幌医科大学保健医療学部 作業療法学科 舘 延忠

会費: 1,000円

日本小児神経学会専門医研修単位として出席2単位が認められています

## テーマ 「脊髄性筋萎縮症」

### プログラム

13:00-13:05 **開会の辞** 札幌医科大学保健医療学部 作業療法学科 舘 延忠 先生

13:05-15:05 **第1部 「脊髄性筋萎縮症の進歩」**  
発表20分(質疑含む)、指定発言発表40分(質疑含む)

#### 「脊髄性筋萎縮症の臨床および遺伝子の概要」

東京女子医科大学附属 遺伝子医療センター 齋藤 加代子 先生

#### 「バルプロ酸ナトリウムによる脊髄性筋萎縮症の治療の基礎的研究」

神戸大学大学院医学研究科 遺伝疫学分野 西尾 久英 先生

#### 「脊髄性筋萎縮症の非定型例の臨床と遺伝」

札幌医科大学保健医療学部 作業療法学科 舘 延忠 先生

#### 「脊髄性筋萎縮症の呼吸管理のスタンダード」

国立病院機構八雲病院 小児科 石川 悠加 先生

#### 指定発言

#### 「SMN複合体の機能と脊髄性筋萎縮症」

理化学研究所 オミックス基盤研究領域 鈴木 治和 先生

15:05-15:20 休憩(15分)

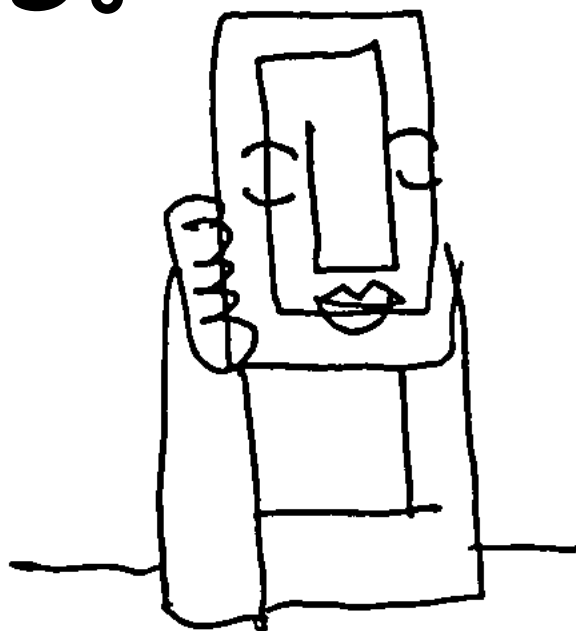
15:20-16:20 **第2部 「推薦演題」**  
「平成21年度日本小児神経学会から優秀演題を選択」  
(4演題予定、15分×4)

16:20-16:35 休憩(15分)

16:35-17:35 **第3部 「教育講演」**  
「先天性ミオパチー:最近の研究の進歩」  
国立精神・神経センター神経研究所 疾病研究第一部 西野 一三 先生

17:35-17:40 **閉会の辞** 札幌医科大学保健医療学部 作業療法学科 舘 延忠 先生

たとえば、  
ナイチンゲールだったら  
どうするだろう、  
と考えてみる。



彼女の直筆の文字を使ったこのマークを見るたびに、いつも、自分たちに問いかけています。

自ら志願し、クリミア戦争で傷ついた戦士たちの  
看護に向かったナイチンゲール。怪我や病気で  
苦しんでいる人たちは、何をしてほしいのか。  
それが、彼女の行動のすべての出発点だったの  
だと思います。治療する側の発想だけではなく、



ベッドの上にいる人の視線で医療を見つめること。  
病気と闘う人の不安な気持ち、少しでも良くなり  
たいという切実な思いを、真っ直ぐに見つめる  
こと。「ヒューマン・ヘルスケア」。私たちエーザイの  
スローガンには、そんな思いが込められています。

※hhcの文字は、フローレンス・ナイチンゲール(1820~1910)の直筆サインから取り出したものです。

ヒューマン・ヘルスケア企業 エーザイ

<http://www.eisai.co.jp>